

## 麦の家の基本理念

社会福祉法人麦の家は、聖書に記された「一粒の麦、地に落ちて死なずば唯一つにてあらん。もし死なば多くの実を結ぶべし。」の精神に基づく社会福祉実践共同体として認知症と診断された高齢期にある人々の生活の場作りを目指す。具体的には、

- 1) 人は全て「一人の人間」として、生命ある限りその尊厳に究極的価値を認め、個人として尊重される社会の実現を目指す。
- 2) 認知症と診断され、自立して日常生活することの困難を覚える高齢者の生活ニーズに応えるべく、入居者を中心として、その家族、及び地域の人びととの連携によるグループホーム実践を目指す。
- 3) 時代の徴を見極める広い視野のもとに、愛と希望そして社会的正義のもとに、持続可能な共生地域（むら社会）建設の拠点として、機能する専門的コミュニティ・ケア実践を実践を目指す。

## 令和元年度 社会福祉法人麦の家法人事業報告

新型コロナウイルスの感染に全世界がその対応に苦慮する姿が毎日のマスコミ情報で伝えられる中で、それぞれの国柄の違いが浮き彫りにされつつある。危機を一先ず通過し2次感染に備える中で、益々国際的連携の重視と自国ファーストと言う二つの相反する流れが益々鮮明になり、日本が占める位置・その責任について自問せずにはおれない。

改めて、この度のコロナ禍が襲い掛かる介護の現場である「麦の家」にあって、個人・家族そして地域社会等相互連携の重要性を痛感している。家族の来訪・面接が遮断された入居者の不安は、家族にとっても「麦の家」に預けている『うちの人』への思いを強く抱かずにはおられない経験を与えたのではあるまいか。また近隣地域社会との絆も薄れゆく入居者にとって認知症ケアとは何かと再考を促す機会でもあったと思う。

いずれにしても、認知症を患う高齢者の方々と関わる「麦の家」は、ウイルス感染とは、我々人間が余りにも自己（人間）中心の社会を求め、他の生物の生命を軽視し、排除してきた結果生じてきたものであることを思うとき、遅きに失したと言えるかもしれませんが、今一度認知症という病気が、環境が齎す要因を少なからず抱えていること、然も高齢者に起こる病気であることを今一度振り返り、自分の身の周り（人と環境およびその関係）への眼を改めなくてはならないと思うのです。

上記の視点を以て、以下令和元年度の事業報告です。

- ① 「A型サービス担当者養成研修会」がケアラーの養成と組織化を優先するとの村当局の方針で補助金を継続して受けられず中断の結果となった。行政の理解を得るための努力を再度必要とする。
- ② 独居の高齢村民を対象とする小規模住宅型有料老人ホームは詳細の検討が必要。
- ③ コミュニティケアの概念の無いグループホームはありえない。  
ボランティアビューローのないコミュニティケアはありえない。  
現在の麦の家の人的状況で実践には至らず。
- ④ 「麦の家」沿革誌の作成については開設以前からの資料の散逸を防ぐ為のデータ処理

が進んでいる。ケア事例の実践報告データは未だ着手できていない。

- ⑤. 広報紙「ひとつぶの麦」を隔月で村社会福祉協議会が発行する機関誌に折込み中川村全戸に配布した。広報というのは宣伝ではない。パブリックリレーション＝社会的一人ひとりの関係を作る手段でなければならない。現在の「麦の家」の広報誌は役割としては不十分。家族会便りもパートナーとしての入居者・家族の情報発信をしていく方向に進めたい。
- ⑥. 「麦の家」の人材育成という使命として、文京学院大学・立正大学より8名の実習生を受け入れた。一人の学生が休日に外出し川に転落、救急搬送されるという事故があり実習受け入れ側として管理体制の必要性が問われる。
- ⑦. 「麦の家」の機能充実に欠かせない事務部門の強化が継続的課題。
- ⑧. サバティカルの希望者が、常勤・非常勤共に応募者がなかった。  
学習意欲・新しい体験を持つことへの関心を持つような職員の養成を課題とする。
- ⑨. 環境整備については指定寄付金で長年放置していた施設周辺の竹林整備を、入居者家族（森林管理の専門家）に依頼し実施した。また、施設のトタン屋根遮熱塗装・外壁塗装工事、敷地内樹木の枝打ちを行った。
- ⑩. 法人事業としてのクリスマスの再検討。昨年もキリスト教に限らず入居者の「般若心経」も唱えられ感激したというお客様の意見が多かった。
- ⑪. 災害時の避難場所として、医療的処置が可能なこと、入居者にとって馴染みの家族・職員が集まれる場所であること等を勘案して直近の特別養護老人ホームと提携を結んだ。
- ⑫. 介護予防・日常生活支援総合事業については、1名の利用者で昨年に続き運営することができた。「指定第1号通所事業＝通所型中川村一体型サービス」というが中川村、そしてそこに住むクライアントのニーズに即した中川村という独自のサービスという概念でというよりも、国が定めた事業そのままの名称が用いられていることに大きな危惧と違和感をもつ。

## 報告事項

### 【法人関係】

- ① 麦の家理事会・評議員会
    - 5月25日 第1回理事会
    - 6月9日 第2回理事会・定時評議員会
    - 7月20日 第3回理事会
    - 10月23日 第4回理事会
    - 3月24日 第5回理事会
- 評議員自由懇談会 4月23日、9月16日

### 【グループホーム】

麦の家運営推進介護（身体拘束等適正化委員会・・・同時開催）

- 5月11日 令和元年度の事業活動について
- 7月18日 広報紙「ひとつぶの麦」リニューアルについて
- 9月19日 防災訓練について クリスマス会について

1月14日	各事業について検討
1月16日	現状報告
3月12日	事業報告

## 令和元年度社会福祉法人麦の家事業報告 グループホーム関係—ぶどうの木ⅠⅡ

### 1. 令和年度グループホーム計画課題に伴う実施報告

令和元年度は、ぶどうの木ⅠⅡⅢのリーダーも2年目を迎え、リーダーとしての自覚も少しずつ出てきたように思う。特に、それぞれの部署で責任を果たそうとした仕事が行動の随所に感じられた。リーダーそれぞれが抱えている課題の中で共通しているものとして、職員に対する指導（言葉がけ含む）の難しさであった。1年間の中で、リーダー一会が継続できず年数回になってしまったことが反省点として挙げられる。

各職員については、今年度“自己評価表”を全員の職員に配布した。全職員対象に、（基本行動・職務職責・組織運営・職務遂行）基礎及び日常援助技術に関する評価、リーダー・中堅職を対象に、問題発見・解決、技術指導、リーダーシップに関する項目評価、管理職として、労務管理、危機管理、教育管理、リーダー育成に関する評価について、年3回の自己評価を行った。1回目は、3グループに分けてのグループでの評価の話し合いを行い、2回目3回目は個別面接による評価についての話し合いを実施。

項目に関しての内容の曖昧さの記入の難しさに関しての職員からの指摘があり、今後項目の内容については検討が必要ではあるが、一人一人の職員が、自らの職務を振り返る機会が持てたことは一つの前進と言える。更に、内容を検討し、職員一人一人の向上につなげたい。

ケアの実施内容については、個別プログラムについて重視した。入居者家族でもある作業療法士の資格のあるS氏に、個々のプログラムを作成していただき、グループでのケアと個々のプログラムを日常のケアに取り組み始めることができた。朝の申し送り時と、個々の実施表に記入することで、職員の実施意欲に繋がった。しかし、プログラムの計画性に欠けるところがみられ、個々の入居者の先を見た継続性にはまだまだ届かない部分が多い。また、動作的なプログラムが基本的に多く導入されたことで、麦の家が日常の中で基本としてきた傾聴が出来ていないところが多く、傾聴の大切さを学びなおすところからの継続が望まれる。然も、傾聴は、麦の家の理念にも結び付くものであり、新しい職員が入れ替わったことに加え、理念とともに、麦の家のケアの継承を考えていく上においても重要かつ必要性を強く感じる。

外部評価の実施に伴い外部評価結果入居者アンケート（別紙参照）を受け、更なる目標達成に向けた具体的な取り組み内容として、

- ① 基本的理念の共有を図れるように、ミーティングでの個別事例を通じての学習や小グループでの事例検討等具体的に症例を通じて理解を深める。
- ② リーダーを中心職員のスーパービジョンの機会を定期的持つ。
- ③ 5事業所が連携を図れるように定期的な話し合いを持ちながら、それぞれの事業所の強みを生かせる展開を図れるよう具体的な取り組みに繋げる
- ④ 作業療法士の個々の支援計画を導入し、支援に当たっている。今まで、継続して

きた傾聴に加え、入居者個々のニーズを把握しながら、作業療法士の計画を基に、具体的な個別支援計画を考えていく。

という5点を次の外部評価までの約2年間を目標達成に要する期間とした。

健康衛生面については、全国的なコロナウイルスの蔓延により麦の家も2月下旬（2月26日）より、ご家族には面会の自粛を行い、感染対策を行ってきている。

### ●スタッフミーティング実施内容

＊今年度は特に、麦の家の理念についてなお話し合いを多く導入した。

4月：流行性の風邪の蔓延防止のため、申し送り事項のみ。会議実施せず。

5月：麦の家基本理念①“愛するという事”“最大の掟”“善きサマリア人の譬”

6月：麦の家の基本理念②“一粒の麦”について

7月：麦の家基本理念を事例から考える「介護職員の心がけ・職業倫理」

8月：ぶどうの木各ユニットごと、事例検討①

9月：ぶどうの木各ユニットごと、事例検討②ケア実施経過

10月：アセスメントについて - 国際生活機能分類の資料を基に

11月：クリスマス会計画

12月：クリスマス会についての反省会

1月：個別プログラム（作業療法）導入実施状況報告①（

2月：麦の家の祈りより／個別プログラムの導入について②

3月：令和2年度物品導入に関する検討／看取りにおける今後のケアについて

### 2. 令和元年度入居者状況

・退居者6名（麦の家看取り5名・特養入所1名）

・入居者8名（自宅から5名・老人保健施設から3名）

・短期入所 利用者なし

・生活支援サービス 1名

### 3. 入居者の介護度について（ぶどうの木ⅠⅡ）

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成30年度 (3月31日現在)	2	5	4	3	4	18
令和元年度 (3月31日現在)	2	5	3	4	4	18

＊令和元年度生活支援サービス利用者（1名）要介護1 - （17日間）

### 4. 保険者と入居者数（令和2年3月31日現在）

（上伊那）中川村－14名、

（下伊那）高森町－1名、豊丘村－1名、喬木村－2名

### 5. 各月実施プログラム活動報告-月行事と日常実施プログラム

＊季節行事に合わせた食事は、月の行事ごと実施 ＊（Ⅲ）はⅠⅡとの共同実施プログラム

実施日	実施内容
4月8日9日 12日 4月14日 4月17日 4月21日 9日.11日16日	<b>I II</b> : お花見ドライブ 望岳荘でのお花見会 (大雪のため中止) 麦のお家でお寿司を食べる 家族会 (ぶどうの木 I II IIIそれぞれ分かれての昼食会) 4月入居者誕生日会 中組春祭り (インフルエンザ流行のため参加取りやめ。)
	<b>III</b> : お花見ドライブ
5月 6日 8日 12日 14日 19日 26日 30日 2日.28日 7日25日 27日 30日	<b>I II</b> : 柏餅作り (III) みなかた保育園開放日 (III) 泉龍院ドライブ/母の日メニュー昼食会 (III) 5月入居者誕生日会 五平餅会 かつらまつり参加 (III) 喬木村花見学ドライブ (III)
	<b>III</b> : おやつ (ホットケーキ作り) 村内 (チャオ周辺) ドライブ 陣馬形山ドライブ 買い物 (カインズホーム) ドライブ
6月12日 18日 21日 22日 28日 1日.6日 9日 16日 17日 29日	<b>I II</b> : みなかた保育所開放日 飯島町ドライブ 中川西小学校音楽会 (III) 中川村図書館祭り・バザー 中川東小学校音楽会 (III)
	<b>III</b> : 野菜の苗植え 6月のお誕生日会 父の日のお茶会 おやつ (フルーチェ) 作り 昼食 (いなり寿司) 作り
7月 8日 9日 13日 21日 3日 5日	<b>I II</b> : 伊那あじさい寺・かんでんぱぱ散策・ドライブ (III) 福寿学級 飯島道の駅ドライブ 7月入居者誕生日会 (III)
	<b>III</b> : 七夕の飾りつけ 村内ドライブ
8月 3日 4日 8日 13日 14日 20日 22日	<b>I II</b> : 中川どんちゃんまつり (猛暑のため参加中止) 麦の家家族会 (家族と昼食会) ジャガイモの収穫 (III) 入居者お墓参り 南向祭り/8月入居者誕生日会 (III) 福寿学級 五平餅作り (III)

1 2 日	<b>Ⅲ</b> ：買い物ドライブ
9月 4日	<b>I Ⅱ</b> ：みなかた保育園開放日 駒ヶ根ドライブ 中川東小運動会（Ⅲ） 敬老のお祝い（Ⅲ） 福寿学級 みなかた保育園運動会（Ⅲ） 麦の家防災訓練（Ⅲ） 中川中学校文化祭音楽会参加（Ⅲ） 飯島町コスモスドライブ
5日	
1 4日	
1 5日	
1 7日	
2 1日	
2 7日	
2 8日	
3 0日	
1 2日	
1 6日	
2 0日	
2 3日	
1 0月 2日	<b>I Ⅱ</b> ：福寿学級 入居者お墓参り みなかた保育園開放日 立正大学実習生と沖縄のおやつづくり 中川村社会福祉協議会ふれあい福祉広場（Ⅲ）
3日	
9日	
1 1日	
2 0日	
2 5日	
3 0日	<b>Ⅲ</b> ：おやつ（サンダーアングギー）作り 買い物ドライブ
11月 3日～5日	<b>I Ⅱ</b> ：中川村文化祭参加・ステージ発表（Ⅲ） 中川村コンサート 餃子の会 みなかた保育園開放日
9日	
1 2日	
1 3日	
9.11.16.23日	<b>Ⅲ</b> ：クリスマスツリー飾りつけ 昼食（シチュー）作り
2 2日	
12月 3日	<b>I Ⅱ</b> ：12月入居者誕生日会 麦の家クリスマス会・家族会（Ⅲ） 福寿学級 鍋の会
7日	
1 7日	
1 9日	
1 5日	
2 7日	<b>Ⅲ</b> ：12月クリスマス会 おやつ（ホットケーキ）作り お正月飾り（しめ縄飾りつけ）
2 8日	
1月 1日	<b>I</b> ：初詣 1月入居者誕生日会 中組一地区の皆さんとどんど焼き参加
8日	
1 2日	
1月 1日	
26日	<b>Ⅲ</b> ：お正月遊び（福笑い・かるたとり） 1月お誕生日会

2月 3日	I II : 2月の入居者誕生日会／中川村福引会参加 中川村冬の景色ドライブ① 中川村冬の景色ドライブ②／坊主めぐり大会
8日	
17日	
3日	III : 節分・豆まき おやつ (ホットケーキ) 作り 昼食 (ハンバーグ) 作り バレンタインおやつ作り
4日	
11日	
14日	
3月 1日	I II : 3月入居者誕生日会 (I) ひな祭りの会 (III) 防災訓練 (新型コロナウイルスのため中止) 3月の入居者誕生日会 (II) 3月の入居者誕生日会 (III)
3日	
12日	
15日	
30日	
20日	III : 花の苗 (パンジー) 植え
福寿学級	8月21日・9月18日・10月3日・1月8日

## 6. 継続ボランティア

### ●麦の家監事関靖氏によるアコーディオンと歌の会

4月3日・17日 5月22日 (ぶどうの木 I II) 6月5日・19日 7月1日・17日  
8月7日・22日 9月4日・18日 10月2日・16日 11月13日・20日  
12月4日・18日 1月8日 (ぶどうの木 I II) 22日 2月5日・19日  
3月新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止 (年間21回)

### ●傾聴ボランティア

\*傾聴グループ (2名) : 4月12日・3月14日・6月11日・7月9日 8月20日・  
9月10日・10月15日・12月18日・1月14日・2月11日 (10回)  
\*あすなろ会 : 制作等 (3名)  
4月24日・5月22日・7月10日・9月25日・10月30日 (5回)  
2月以降新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止

## 7. 家族会

4月14日 第1回家族会 13家族出席 : 31年度の行事予定・各リーダーと話し合い  
8月4日 第2回家族会 11家族出席 : 外部評価について  
12月7日 第3回家族会 クリスマス会・年末年始のご家族との関わり・帰省について  
家族会による活動 草刈り : 5月26日 7月28日

## 8. 実習関係報告

- ・介護実習 - 実習生受け入れなし。
- ・相談援助実習 - 文京学院大学 - 実習人数 (3名) 実習期間 (8月6日～9月13日)  
立正大学 - 実習人数 (4名) 実習期間 (9月25日～10月31日)
- \*立正大学男子学生1名が怪我により入院、実習途中で中断となる。
- ・共生社会フィールドスタディ - 文京学院大学 - 実習人数 (1名)

## 9. 広報活動報告

- ・家族向けお便り (各月1回一年6回)
- ・“ひとつぶ” 広報誌 (年4回)

\*令和元年度は「ひとつぶ」の広報誌は4回の配布となった。村内事業所連絡会に

## 10. グループホームに関する報告・関連事業

### ①村内経営法人（5事業所）による情報交換会

11月15日・1月15日：村と村内介護施設経営法人との懇談会について

村の高齢者福祉施策・介護保険事業をそれぞれの施設と話し合い。

### ②介護予防・日常生活支援総合事業“ひとつぶの種”

- ・通所型中川一体型サービス利用者：中川村在住女性1名（Yさん）
- ・利用開始日平成29年2月28日～実施を始め3年間の継続となる。
- ・利用日：毎週月・水曜日（月9日～10日）

令和2年2月末、コロナウイルス感染拡大に伴い、通所事業を見合わせ、週1回Yさん宅への訪問事業に切り替えた。身体的にも低下が進んだYさんのニーズを聞きながら柔軟的なサービスの提供を考えていきたい。